

岡山県入院者訪問支援事業について

岡山県保健医療部健康推進課
片岡 美江



本日の内容

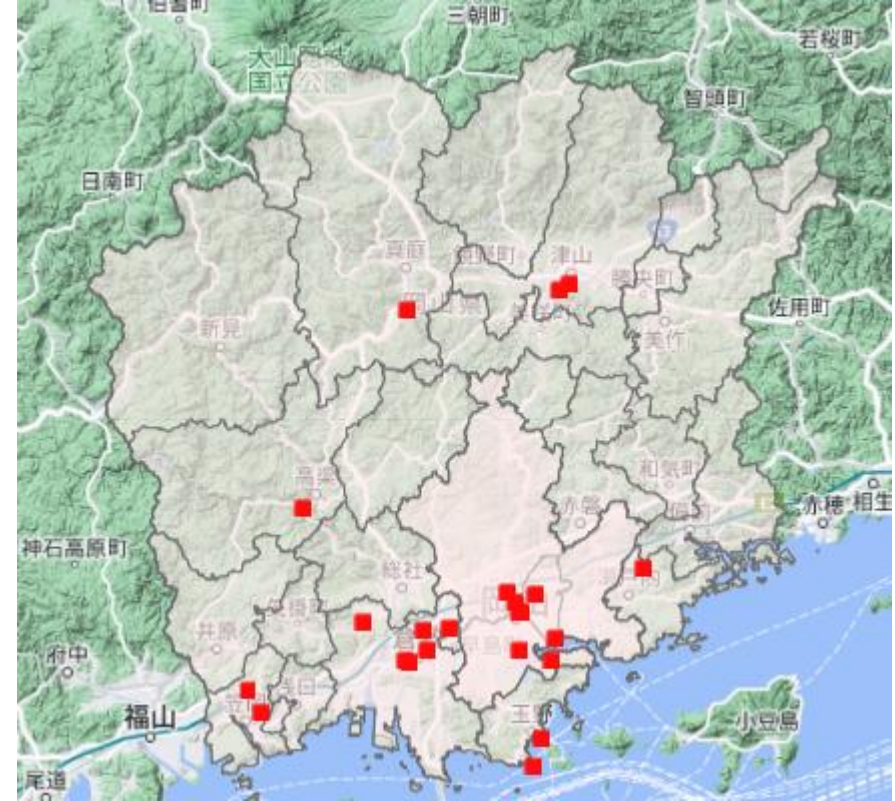
- 1 入院者訪問支援事業における県と政令市の関係
- 2 入院者訪問支援事業の実施経緯
- 3 実施に至った理由
- 4 心配したこと
- 5 おわりに

岡山県



県人口の6割が岡山市と倉敷市に集中している。

- 人口 1, 843, 812人 (R6.1.1)
岡山市 (政令市) 715, 266人
倉敷市 (中核市) 468, 861人
- 障害福祉圏域数 5



R5年度末現在

- 精神科病院数 23か所 (うち岡山市外14か所)
- 精神科病床数 5,154床 (うち県2,493床)
- 退院請求等審査件数 46件

市町村長同意による医療保護入院の5年平均件数
(H30~R4) 32人

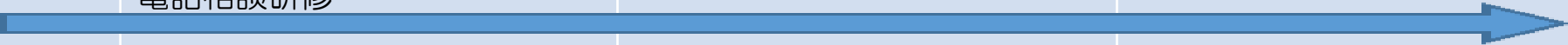
1 入院者訪問支援事業における 岡山県・政令市の関係

○平成21年4月 岡山市 政令指定都市に移行

- ・精神科救急医療システム整備事業は全県で実施。
- ・入院者訪問支援事業は、岡山市と同じ法人（一社）おかやま精神医療アドボケイトセンター（OPAC）に委託している。
- ・関わる人が混乱しないよう、なるべく岡山市と同じ仕様にそろえた。
- ・事業対象者は、市町村長同意による医療保護入院者以外も対象とする。
- ・登録アドボケイトを市と県で共有し、アドボケイトの意向も踏まえ派遣調整する。
- ・アドボケイト養成研修は1回／年は実施し、全県から募集する。
県北エリアでの研修開催を依頼し、県北からも参加しやすいようにした。
- ・病院への周知はOPACと病院を訪問して実施。
- ・推進会議は県・市それぞれ行う。

2 実施の経過

R5	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
岡山市 OPAC	OPAC検討会 2回実施 アドボケイト養成プレ研修 (リーダー育成)	第1回アドボケイト養成研修実 施	岡山市がモデル事業実施 第2回アドボケイト養成研修実 施	県管轄14病院のうち13病院の 院長・事務長への周知
岡山県	県精神保健福祉センター (県精保センター) 所長が OPAC運営スタッフとして 検討会、研修会へ参加 県の事業実施について方向 性を検討(概ね実施の方 向)	県精神保健福祉センター所長 が養成研修の講師として参加	県・岡山市・OPACと事業実施 について情報共有 県精保センター所長と担当者が 養成研修に参加	岡山市・OPACと事業実施につ いてすりあわせを行う 実施要項案作成 R6年度予算確保 保健所長会で事業実施周知 保健課長会で事業実施周知

R6	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
OPAC	県管轄の13病院のコメ ディカルへの事業説明 電話相談(1回/週) アドボケイト派遣	 第1回アドボケイト養成研修 (県南会場) 電話相談研修	第2回アドボケイト養成研修 (県北会場) 実務者会議(予定)	
岡山県	OPACと委託契約締結 (随意契約) 保健所・市町村担当国会議 で事業実施周知	保健所・市町村事業説明		推進会議開催 事業評価

3 事業実施に至った理由

- ・入院者が地域とつながる機会が増える。
- ・精神医療審査会では入院者の声が届きにくい。
- ・訪問支援員を養成することで、アドボカシーの正しい知識を持つ人が増える。
- ・アドボケイトが入院者の体験を聴き、知ることができる。
- ・地域移行・地域定着支援をはじめ、支援するには入院者自身が思っていることが言えることはとても大事。
- ・地域の支援体制が充実する。
- ・精神科病院にアドボケイトが入ることで風通しがよくなる。



地域移行・地域定着に頑張っ
て取り組んできたので病院に
入りやすい。

・財産の活用

H25年に岡山県精神保健福祉協会がモデル事業「精神障がい者アドボケーター派遣事業」を実施している。

「非自発的入院や長期入院者にとって地域との接点を常と感じられる環境を作することは、人としての大切な権利ではないでしょうか。」

当時、モデル事業に関わっていた人々がOPACの立ちあげにも関わり、入院者訪問支援事業に関わっている。

精神障害のある人の人権擁護に志の高い、リーダーシップを取れる人材に恵まれた。

4 心配したこと

- 退院請求が増えたとき対応できるか。
→方針について協議する中で、退院請求をすすめるよりも傾聴することを大切にすると確認。
- 地域移行・地域定着支援の実績に結びつくには時間がかかる。
事業評価をどうするか。
→事業を利用した入院者にアンケートをとり、アンケートの内容を評価に反映させることを確認した。
- 病院の負担
病院に不利益はないのか。
→入院者の話を傾聴することが目的。面接の日程調整や面接室の確保については御協力お願いします。

5 おわりに

実地指導・実地審査

精神科病院における虐待通報に係る対応等で出会う患者さん

入院中の楽しみ
は何ですか？



これからのご自身の事
について、どのように
考えておられますか？

.....



何かしてみたいこ
とはありますか？

対象者を真ん中にして物事を考えること。
対象者がどうしたいと思っているのか。
やっぱり大事。
入院者訪問支援事業に取り組むことで、
あらためて感じています。

